

地方創生の気運を第二期につなげていくことが重要

まち・ひと・しごと創生担当大臣 北村 誠吾

ご挨拶に先立ち、先般の台風や集中豪雨などの自然災害によりお亡くなりになられた方々に心からお悔やみを申し上げるとともに、被害に遭われた多数の方々に心からお見舞いを申し上げます。そして、復旧・支援に力を尽くされている町村会の皆様に深く敬意を表します。

さて、本日は「全国町村長大会」が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

町村会の皆様におかれては、平素より全国各地で地方創生の推進に御尽力いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

「平成」から「令和」へと新しい時代を迎えた本年は、第一期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の最終年であり、地方創生の実現にとって極めて重要な一年であります。

皆様のご尽力により、地域の魅力と強みを活かした地方創生の取組が津々浦々まで広がっていることを感じており、このような地方創生の気運を、第二期につなげていくことが重要です。

国としては、2020年度以降の、地方創生の次のステージにおける展開に向けて、地方の皆様からの様々なご意見等も踏まえた上で、年内に、第二期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生の取組をさらに強化してまいります。

具体的には、東京一極集中の是正に向けて、東京から地方へのU I Jターンによる起業・就業者の創出、民間企業の本社機能の地方移転、「キラリと光る地方大学づくり」などを引き続き強力に推進いたします。

また、民間人材の地域展開の促進、関係人口の創出・拡大、子どもの農山漁村体験の充実などを行うことで、地方とつながるひとや企業を増やしてまいります。

併せて、地方での Society5.0 の実現に向け、近未来技術等の社会実装を進めるほか、持続可能な開発目標「SDGs」を原動力とした地方創生を推進してまいります。

地方の皆様から高い期待を寄せていただいている地方創生推進交付金については、令和二年度当初予算においても、所要額の確保に努めるとともに、第二期に向けては、第一期における取組の成果を踏まえ、さらなる運用改善などの必要な見直しを行ってまいります。

また、地方拠点強化税制及び企業版ふるさと納税については、今年度末で特例措置の期限を迎えることもあり、延長・拡充の要望を行っております。

特に、企業版ふるさと納税では、企業と地方公共団体の双方にとって使いやすい仕組みとすることで、地方への資金の流れを飛躍的に高めてまいります。

地方創生の一層の推進には、皆様のお力が欠かせません。地方創生の一つの節目となるこの期に、ご地元の各町村におけるこれまでの地方創生の取組について振り返っていただき、次期「地方版総合戦略」の策定に向けた準備を進めていただきますようお願いいたします。

国としても、地方の皆様が主役となるような地方創生が実現するよう、全国各地の独自の取組を全力で後押ししてまいります。

結びに、全国町村会のご発展と、ご参会の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。